農林漁業体験機会の推進

令和3年度食料産業・6次産業化交付金 地域での食育の推進事業(食育事例)

生き物いっぱいの畑で食育・食農体験!!「飛騨在来大豆の播種から収穫・味噌づくり・きなこ作り」

- ONPO法人Earth as Mother 岐阜は、未来の子供たちが安全で安心して食せる美味しい作物づくりを中心とした昔ながらの農業を実践し、ひとと地球環境にもやさしい「地域共生社会・モデルコミュニティ創り」を目指して活動しています。
- 〇農薬・化学肥料・除草剤を使用しない畑にて、地域の在来品種の大豆の種まき・収穫・乾燥、そしてその大豆を浸水して から煮て塩と麹と混ぜて味噌を作る、きな粉を作る。そうした体験を通じて地域の自然環境と農が食卓と密接にかかわっ ている事を体感できる、自然の仕組みの中で食が育まれていることを体験できる食育・食農体験を実施しました。

特定非営利活動法人 Earth as Mother 岐阜



【取組の内容】



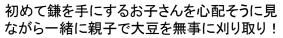
【飛騨在来品種大豆(はところし)播種から 収穫&味噌作り体験】

大豆の種まき、収穫、そして収穫した大豆で 味噌ときなこ作りをして食するところまでを一 連の流れで体験する農業プログラムを提供。

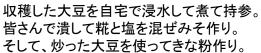
【種まき】 31名参加

飛騨地方に代々繋がる大豆が次の種になることを伝え、畑に種まきを実施。

【収穫】24名参加

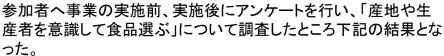


【味噌ときなこ作り】25名参加



1年間の体験を通じ、普段食べているきな 粉やお味噌がこのように手間暇かけて作ら れていることを知って、食べ物の大切さを実 感された方が多くいらっしゃいました。

【アンケート調査】



【取組の成果】

実施前(令和3年5月):81.8% → 実施後(令和4年1月):90.9%

【参加人数】

初めての試みながら目標を上回る親子連れの市民に参加いただき、食や農への理解を深めた。

令和2年度:0人 → 令和3年度:延べ80人(目標人数:75人)

【チラシ配布及びSNS発信】

- ・食育に関心を持つ保育園児の保護者等へのチラシ配布並び に飛騨市全戸回覧を実施 (3000人以上の方に周知)
- Facebook、Instagramを通じて体験の雰囲気などを発信 (2000人以上の方に周知)

参加されなかった方にも、食や農への理解を深めてもらい、食材を 選ぶ際には産地や生産者を意識する方が増加するよう意識啓発 に取り組んだ。



